



東京外国語大学教授

中嶋嶺雄

10年後の 中国

甘い幻想に酔う日本人への警鐘



第一企画出版

10年後の中国

定価1100円

著 者———中 嶋 嶺 雄

発 行 者———清 水 隆 浩

発 行 所———株式会社 第一企画出版

〒103 東京都中央区日本橋2-16-10

川東ビル2F

電話 (03)271-6281 (代)

振替 東京3-94293

印刷製本———中央精版印刷株式会社

© MINEO NAKAJIMA
1985 Printed in Japan

ISBN4-924719-24-2

10年後の中国

(甘い幻想に酔う日本人への警鐘)

東京外国語大学教授

中鳴嶺雄



目次

ブローグ 目覚めた獅子はどこへ行く 18

眠れる獅子から怒れる獅子、目覚めた獅子へ
あまりにも大きい毛沢東政治のマイナス遺産
まぼろしのバラ色中国市場論
はたして香港を経営できるか

10年後の中国¹

ポスト鄧小平の政治情勢はどうか 27

◎鄧小平の指導力はいつまで続くか 28

最高の政治戦略家・鄧小平

非毛沢東化を推進、国内経済を活性化

一九八七年までが当初の政治的ゴール

◎ポスト鄧小平体制へのいくつかの不安 35

遅々として進まない整党

困難な人民解放軍の近代化

鄧小平路線と陳雲路線

鄧小平ワンマン体制の強化

路線の対立は激化するか

左右の揺れはまだまだ続く

10年後の中国²

「開放」体制はどうか

◎「放」^{フツ}と「収」^{シュウ}の往復循環 48

イデオロギーの「開放」ではないのだ

鄧小平批判^ノの底流

「西側化」への期待は幻想である

◎鄧小平指導部自身も軌道修正 54

注目すべき鄧小平発言の揺れ

今後を予想させる『人民日報』の重要社説

10年後の中国³

西側指導者の熱い期待に冷や水

社会の変化はどう進むか

..... 61

◎土台はなかなか変わらない国 62

近代的ホテルに喫茶店やデイスコまで

表面は急速に変わるが

モビリティの極端に少ない国

貧困のユートピアから、拝金主義へ

◎厳しい管理社会国家である 69

就職の自由の少ない身分証明書社会

最大の脅威は国民の民主化要求

生活レベルの向上を求める民衆

中国社会に内在する深刻な問題点

10年後の中国⁴

人口問題に解決策はあるか

..... 77

◎人口増加はどこまで続くか 78

日本の三倍の可耕地に一〇倍の人口

戦前の四億から一〇億台に急増

異常な人口抑制政策の前途

◎現在の一・五倍になったら赤信号 84

人権抑圧といわれようと

毛沢東政治の高いツケ

今世紀末に一二億で抑えられるか

10年後の中国⁵

産業・貿易・財政・GNPはどうか……………

89

◎中国の近代化を拘束する膨大な農村人口 90

異常な経済成長率の裏側

高すぎる農業人口比をどう下げるか

産業構造の転換が急務

貿易の急速な拡大は困難

◎深刻な財政危機を脱する秘策はあるか 98

国家財政は今後どう変化するか

10年後の中国 6

国際競争力はどの程度か

通貨の増発がインフレを助長
一人当たりGNPは一〇年後も低水準
二〇四九年に先進国並みになるのか

107

◎国際信用の回復が急務 108

信用を失墜するご都合主義
国内事情で公約を破棄
外国人に対する二重価格制は大問題
人民元が弱い限り国際競争力は強くない

◎では強力な輸出産品はあるのか 116

強い繊維製品もアジア諸国と競合
石油、石炭は需要に陰り
相手国をイライラさせる貿易体制
中国とのつき合い方

10年後の中国 7

農村はどんな発展を見せるか

121

◎生産責任制で急速に増産 122

農村人民公社の解体を完了
農民間の貧富の差が拡大

◎どのような農業政策をとるべきか 125

このままでは小農経済に逆戻りする
輸出の増大には流通機構の整備が不可欠
農地を砂漠化させた毛沢東政治の失敗

10年後の中国⁸

都市はどう生まれ変わるか

◎都市への集中は歴史的衝動 132

都市は人口過密でパンク寸前
都市の経済改革に着手したが
厳しい住宅事情と都市の無秩序

◎都市の環境整備は二一世紀の課題 136

都市公害はきわめて深刻
喧噪と人ゴミの巨大な屑籠

10年後の中国⁹

都市をいかに分散するかだ

交通・運輸・通信・エネルギー事情はどうか……………141

◎交通・運輸・通信の整備は可能か 142

いまだに機関車の七〇%が旧式SL

道路建設だけで世紀の大事業

外国船を長期間沖待ちさせる港灣設備

電話の普及は日本の一〇〇分の一

◎インフラストラクチャーの整備が鍵 148

石油可採年数はあと十数年

大型炭坑でも機械化は四〇%

宝山製鉄所が稼動すると上海は電力不足に

10年後の中国¹⁰

科学技術・教育はどう進むか……………153

◎現状に見合った科学技術の振興とは 154

余剰労働力と省力化の矛盾

自由競争のない中国で技術は進歩するか

◎近代化を妨げる教育制度 159

優秀なテクノクラートが不足
地域によって異なる教育制度
深刻な高等教育の立ち遅れ
専門以外に弱い大学生
教育効果と文盲率

10年後の中国 11
ビジネス・マップはどう変化するか

◎中国相手に利益を求めることの難しさ

170

一人当たりGNPでは最貧国
合併企業が難しい五つの理由
日本の銀行は資金調達機関
まず徹底した中国研究から始めよ
問題の多い日中記者交換協定
台湾問題を利用する中国

169

◎どんなビジネスマップを描けるか 180

上海地区とはますます緊密になる

東北の心臓部・大連

広州は香港、華僑資本とのたたかい

10年後の中国12

軍事力はどこまで拡充できるか……………

189

◎毛沢東の遺産・人民解放軍 190

兵員では世界最大の軍事力

軍の近代化はなぜ困難か

階級制度の復活と軍区の再編

一〇〇万の兵力削減が急務

◎量から質への軍事力の転換 197

核ミサイルはどこまで開発されたか

先端兵器の操作能力はあるか

空海軍の脆弱性

ポスト鄧小平の軍を統括できるか

10年後の中国 13

国際社会での位置はどう変わるか

203

◎大国として外交力をもつ中国 204

国際関係に政治戦略を駆使

明白な国家目標をもつ国

アメリカが期待する反ソ政策には乗らない

『同床異夢』の米中関係

◎アジア太平洋地域にどうかかわるか 211

太平洋諸国との緊密化をはかりたい

ベトナムとの関係改善

韓国の中国接近は成功しない

「中国の影」に苦悶する ASEAN 諸国

10年後の中国 14

中ソ関係はどこまで改善されるか

219

◎中ソ間に対立すべき要因はなくなった 220

相互依存関係を強化するしかない

10年後の中国15
香港問題はどうか

◎「港人治港」か「共人治港」か 236

中国は公約を破り通すか
繁栄の持続こそ中国の国益
イギリスの植民地から中国の植民地へ
行政長官は中国当局が決めるか

◎さらに進展する中ソ和解 228

中国の異質性を無視してはならない
新しい「知ソ派」世代の台頭
「三大障害」は西側へのブレゼント
ゴルバチョフ政権とゆるやかな同盟
貿易、人的交流は飛躍的に増大
内陸側から中国を見る視点が重要
中ソ最短距離鉄道を計画中
シベリア開発に中国の労働力を期待

◎香港の将来にかかわる四つの不安 241

香港的自由が抑制されたら

外国資本や頭腦の流出

中国民衆の反香港感情

中国に巧みな香港経営ができるか

10年後の中国¹⁶

台湾との関係に変化はあるか

247

◎二一世紀になっても台湾は現状のまま

248

香港経営の手腕に注目

武力解放の可能性

中国との豊かさの違い

◎中国民族の眞の発展とは何か 253

それでも台湾は発展する

統一だけが最善の道なのか

すでに中台貿易は一〇億米ドル

日中関係はどう展開するか

◎日中関係は過熱と冷却の繰り返し 260

中国フィーバーに浮かれています

中国に夢を見すぎる日本人

愛憎の激しい異母兄弟の関係

アンバランスな人事交流

対日輸出の増大は難しい

◎経済協力もいきすぎは禁物 270

対中経済協力もすでに限界点

中国に好都合な合併企業

ほどほどの友好関係が長期安定の道

エピローグ 二一世紀の中国 275

人口一〇億以上の国の近代化は可能か

社会主義体制が根本的に問われる日

社会主義からの離脱こそ発展への道か